

嵐山溪谷ぶらりさんぽ してみませんか

埼玉県比企郡嵐山町



②⑩くよづかのべつたら地蔵

このお地蔵様は横から拜むと真っ平ら。地元では「平地蔵」と呼ばれている。嵐山町最大の石仏(地蔵様)。建立は宝永6年(1709年)。

⑨小倉城跡

500年くらい前の戦国時代の山城。関東では珍しく大規模な石垣が築かれている。

⑧遠山おけつ罅穴

川底のくぼみに小石などがはまり、水流によって岩石が削られ、ほぼ垂直に円形の穴ができる。人が入れるくらい大きいものもある。自然の芸術。

⑦嵐山町最古の本格的コンクリート橋「谷川橋」

昭和37年に建設された。

⑥山の神とスダジイ

巨岩のしたにある社が山の神。その岩上に暖帯の代表的な木「スダジイ」がある。

⑤温泉遺跡「幸吉の湯」

かつて松月楼の温泉の源泉遺跡。嵐山溪谷観光駐車場への道端に、現在も当時の湯を引いた鉄管を見ることができる。

④道元の滝と水族館跡

ときがわ町の道元平の麓から流れる小川が槻川と合流するところにてきた滝。隣の崩れたコンクリートの大きな壁は昭和10年代に建設された水族館跡。

③ごりん沢の展望

槻川が180度曲がる頂点の場所。昔から「提灯お化け」が出るので有名。

②与謝野晶子歌碑

昭和14年与謝野晶子と娘藤子が松月楼に滞在し、「比企の溪」29首を詠んだ。

①嵐山町名発祥の地碑

昭和3年日本初の林学博士本多静六博士がこの地を訪れた際、京都の嵐山にそっくりだと「これは武蔵嵐山だ」とつぶやいた。町名は博士のその一言に由来しています。

⑩木造旅館と展望風呂の跡

昭和初期から今の展望台一带に「松月楼」という木造旅館があった。昭和30年代廃業。展望風呂の基礎部分の黄色いコンクリートが現在も崖に張り出すように残っている。

⑨紅れんせき片岩

水車用水取水堰の周辺にピンクの岩。別名「乙女岩」

⑧槻川の水流を利用した製粉水車場遺跡

現在オートキャンプ場になっているところが製粉水車場の跡。地元では「くるまんち」(現月川荘)とよばれた。また、遊歩道終点手前の水流の中に古い木の杭が取水堰の跡。

⑦かせ岩

槻川が直角に曲がる淵に水中から突き出た三角の平たい岩。夏の水遊びの時、この岩に登るとかせる(かぶれる)といわれ地元の子供は登らなかった。

⑥冠水橋

大水時は橋桁の上を水が流れ、橋が破壊されないよう工夫された橋。かつては山仕事用に木造の季節橋を冬の間だけ架けていた。

⑤亀の甲岩と吉光御前の伝説

対岸の水中から出ている大きな亀の形をした岩。850年ほど昔、源義賢の娘(木曾義仲の姉)吉光御前が遊んだといわれている場所。

④炭焼窯跡

近くの村人が炭焼をした窯跡。二つ並んでいる。天井は落ちているが焼け土の壁が見える。

③新しい遊歩道と飛び石

2015年完成の遊歩道。バーベキュー場から上流に進み、槻川を飛び石で渡れば嵐山溪谷の展望台・トイレに約20分で到着。

②千手院伝説の洞窟

崖下にぽっかり空いた洞窟に入るとあら不思議。洞窟から出れば千手堂のお寺千手院。

①嵐山溪谷バーベキュー場トイレ

人に優しく清潔なトイレ。さわやかトイレでいざ溪谷へ出発!